



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会

各地区安管協会の活動紹介

「交通死亡事故現場診断」を実施（令和3年11月中）

伊東地区、裾野地区、静岡中央地区、磐田地区、三島地区、島田地区安全運転管理協会は、それぞれ地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、この11月中、管轄警察署の「死亡事故現場診断」に参加し、事故防止対策を協議しました。

【伊東地区】

11月4日（木）、県警交通部及び伊東警察署の呼び掛けで、伊東市役所、熱海土木事務所、安協伊東地区支部等関係団体とともに、伊東地区安全運転管理協会から市川会長、事務局長2人が参加、合計13人により

10月22日（金）、伊東市松川町地先の主要地方道で発生した交通死亡事故（軽四乗用車と歩行者との衝突事故、横断歩道を横断中の77歳女性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は市街地の見通しの良い直線道路で、現場診断及び対策協議の結果、

- 通行車両の注意喚起として、横断歩道手前の路面をペンガラ色に塗装する
- 横断歩道の通行方法等について、交通安全教室や街頭広報で指導啓発する

などの意見が出されました。



【伊東署員から事故状況説明】



【交通事故発生現場】



【事故現場診断】



【事故防止検討会の状況】

【 裾 野 地 区 】

11月5日(金)、裾野警察署の呼び掛けで、国交省中部地方整備局、長泉町役場、交通安全協会裾野地区支部等の関係団体とともに、裾野地区安全運転管理協会から白砂会長、渡辺理事及び事務局長、さらに裾野地区安全運転管理推進事業所である「三菱アルミ(株)富士製作所」の安全運転管理者の4人が参加、合計13人により

10月11日(月)午前、駿東郡長泉町南一色地先の国道で発生した交通死亡事故(大型貨物車へ中型貨物車が追突した事故、中型貨物車運転の53歳男性が死亡)の事故現場診断を行いました。

事故発生現場は、片側2車線道路の信号交差点で、現場診断、事故防止対策を協議した結果、

- 事故現場周辺に「スピード控えめに」「追突事故注意」等の注意看板を設置
- 参加した交通関係団体により交通安全の広報指導活動を実施

など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【裾野署交通課員の事故状況説明】



【事故現場の状況】



【参加者による現場診断の状況】



【事故防止対策を協議】
※意見発表する白砂会長

【 静 岡 中 央 地 区 】

11月17日(水)、県警交通企画課及び静岡中央警察署の呼び掛けで、静岡市役所地元自治会、安協静岡中央地区支部等関係団体と、静岡中央地区安全運転管理協会から望月会長以下役員と事務局長、本年度安全運転管理推進事業所の「日本産業廃棄物処理㈱」「社会福祉法人楽寿会」の計13人が参加、合計25人により

9月21日(火)早朝、静岡市葵区牧ヶ谷地先の県道で発生した交通死亡事故
(左折の大型貨物車と直進の自転車との衝突事故、自転車の47歳女性が死亡)
の事故現場診断を行いました。

事故現場は、自転車通行帯のある片側1車線の信号交差点で、現場診断と事故防止対策を協議した結果、

- 自転車横断帯の道路標示が消えかけているため、引き直して整備
- 運転者と自転車利用者の双方に対し、車両の死角を確認する等の広報活動など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【参加者による現場診断の状況】



【事故現場交差点の見通し状況】



【交通課員から事故状況説明】



【再発防止対策を協議】

【 磐 田 地 区 】

11月15日(月)及び18日(木)の両日、県警交通部及び磐田警察署の呼び掛けで、磐田市役所、地域交通安全推進委員、自治会、安協磐田地区支部等関係団体とともに、磐田地区安全運転管理協会から事務局長が参加、それぞれ約20人により

①10月17日(日)午後、磐田市見付地先の市道交差点で発生した交通死亡事故
(軽四乗用と軽四貨物の出会い頭の衝突事故、軽四乗用運転の74歳女性が死亡)

②10月19日(火)早朝、磐田市長須賀地先の市道で発生した交通死亡事故
(軽四乗用車と歩行者との衝突事故、歩行者の72歳男性が死亡)

の事故現場診断を行いました。

それぞれ事故現場で署員から事故状況説明を受け、事故防止対策を協議した結果、

① 信号のない交差点のため、信号機を設置するよう要望

② 歩行者が被害であったため、歩道の設置と道路幅員の拡張を要望

○ 両事故の共通意見として、道路標示が薄くなっているため表示の引き直し、
関係団体による交通安全広報活動を実施して通行車両等の注意喚起

など、再発防止につながる意見が出されました。



【①見付地先の事故現場診断、事故防止対策の検討状況】



【②長須賀地先の事故現場診断、事故防止対策の検討状況】

【 三 島 地 区 】

11月24日(水)、県警交通企画課と三島警察署の呼び掛けで、三島市役所、三島市交通指導員会、地元自治会、安協三島地区支部等関係団体とともに、三島地区安全運転管理協会から事務局長が参加、合計約20人により

① 11月1日(月)夕方、三島市東本町地先の市道交差点で発生した重大交通事故
(普通乗用車と横断歩行者と衝突事故、歩行者の80歳代女性がその後死亡)

② 11月3日(水)早朝、三島市西本町地先の県道で発生した交通死亡事故
(軽四乗用車と歩行者との衝突事故、歩行者の40歳代男性が死亡)

の事故現場診断を行いました。

それぞれ事故現場で署員から事故状況説明を受け、事故防止対策を協議した結果、

① 建物で歩行者が見えないため、横断歩道の位置を交差点の内側に移動する、
信号機を「歩車分離式」の信号機を設置するよう要望

② 直線道路であるが街路灯の増設やスピード抑制等の注意看板を設置
など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【①東本町地先の現場診断状況】
(矢印：普通乗用車の進行方向)



【①東本町地先の現場診断状況】
(矢印：歩行者の進行方向)



【②西本町の現場診断状況】



【事故防止対策の検討状況】

【 島 田 地 区 】

11月26日(金)、県警交通企画課と島田警察署の呼び掛けで、島田市役所、国交省中部地方整備局、地域交通安全推進委員、安協島田地区支部等関係団体とともに、島田地区安全運転管理協会から岡本会長と事務局長の2人が参加、計19人により

11月19日(金)深夜、島田市野田地先の国1バイパスで発生した交通死亡事故
(大型貨物車同士の正面衝突事故、双方の運転者48歳と53歳の男性が死亡)
の事故現場診断を行いました。

事故現場は、片側1車線の直線道路で、現場診断と事故防止対策を協議した結果、

○ 道路中央に、はみ出しを抑制するためのポールコーン等を設置

○ 国道1号線(バイパス)の4車線化を要望

など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【 島 田 署 交 通 課 員 か ら 事 故
の 発 生 状 況 に つ い て 説 明 】



【 現 場 診 断 、 事 故 防 止 対 策
に つ い て 検 討 ・ 協 議 】